

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【針ヶ谷小学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	年度末評価 (2月)

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	【学習上の課題】国語「我が国の言語文化に関する事項」の文中の主語と述語の関係理解において、課題がある。 【指導上の課題】単元を跨いで意識的に行う反復指導と、児童が反復・習熟に取り組む時間の設定をする必要がある。	⇒ ワークシートやドリルパーク等を活用し、文章や漢字の成り立ちや語彙力を豊かにする等、基本的な反復・習熟に取り組む。 【単元毎に実施】 また、学校図書館の活用等、読書活動の充実を推進する。 【週に1度の実施】
思考・判断・表現	【学習上の課題】国語「読むこと」の目的に応じて文章を読むことにおいて、課題がある。 【指導上の課題】学習課題に合わせて読み取る授業展開の工夫が必要である。 【学習上の課題】算数「図形」「単位量あたりの大きさ」に課題がある。 【指導上の課題】条件や図・式を関連付けて問題解決する学習課題の設定や活動を充実させる必要がある。	⇒ 教師が学習課題を設定するだけでなく、児童自らが課題を立て、解決までの過程や手立てを考える時間を意図的に設定する。 【各単元の始めに設定】 また、学習の振り返りを習慣化し、学習結果をもとに分析・考察する学習活動を重視して取り組む。【毎授業終了時に実施】

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	国語では、漢字を文の中で正しく使う問題や、日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げる感想やその理由を記述する問題に無回答が多かった。国語の学習時だけでなく、普段から漢字を使って自分の考えを文章に表現することや、読書に親しむ機会を設け、特に物語にふれさせて、自分の考えを広げる豊かな表現力や工夫して書力を育成していく必要がある。そのために学校図書館を活用し、読書活動をより推進していく。 算数は、基本的な「知識・技能」は身に付いているが、問題場面の数量関係を捉え、より正確に求めることができるようにしたい。また、「速さ」などの単位量あたりの大きさの意味の理解力も高めたい。
思考・判断・表現	国語では、資料を活用し自分の考えが伝わるように表現を工夫したり、目的に応じて事実と感想、意見を区別して自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること、人物像や物語の全体像を具体的に想像したり表現の効果を考えていることに課題があった。読み取る力と読んだことをもとに自分の考えを表現する力の育成が必要である。 算数では、体積やグラフの問題において、解決に必要な条件を見出して立式したり、読み取ったことを説明したりすることに課題があった。目的や課題に応じて条件を整理し、自分の考えを工夫して表現する力を付けていく。

①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し	
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能	B	ワークシートやドリルパーク等を活用し、基本的な反復・習熟に取り組んでいる。また、週に1回は定期的に学校図書館を利用し、読書活動を充実させている。今後も継続するとともに、中学年以上は辞書を活用して語彙を増やしたり、様々なジャンルの本にふれるなど読書活動の質的向上も行っていく。	変更なし
思考・判断・表現	C	算数では、8割程度の授業で児童が課題や計画を立てて学習する課題解決型の授業が実践できている。しかし、国語は5割に至っていない。また、1学期は発達段階に応じた授業規律の定着を優先したことにより、1時間の授業の中に学習の振り返りを位置づけて習慣化することが7割弱の授業で実践できなかった。	児童自らが課題を立て、解決までの過程や手立てを考える時間を、教師が意図的に設定する。 【各単元の始めに設定】 学年の発達段階に応じて「振り返りのポイント」等を示して学習の振り返りを行い、自分の考えや伸びを表現できるようにする。【各単元・授業毎に実施】

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)